

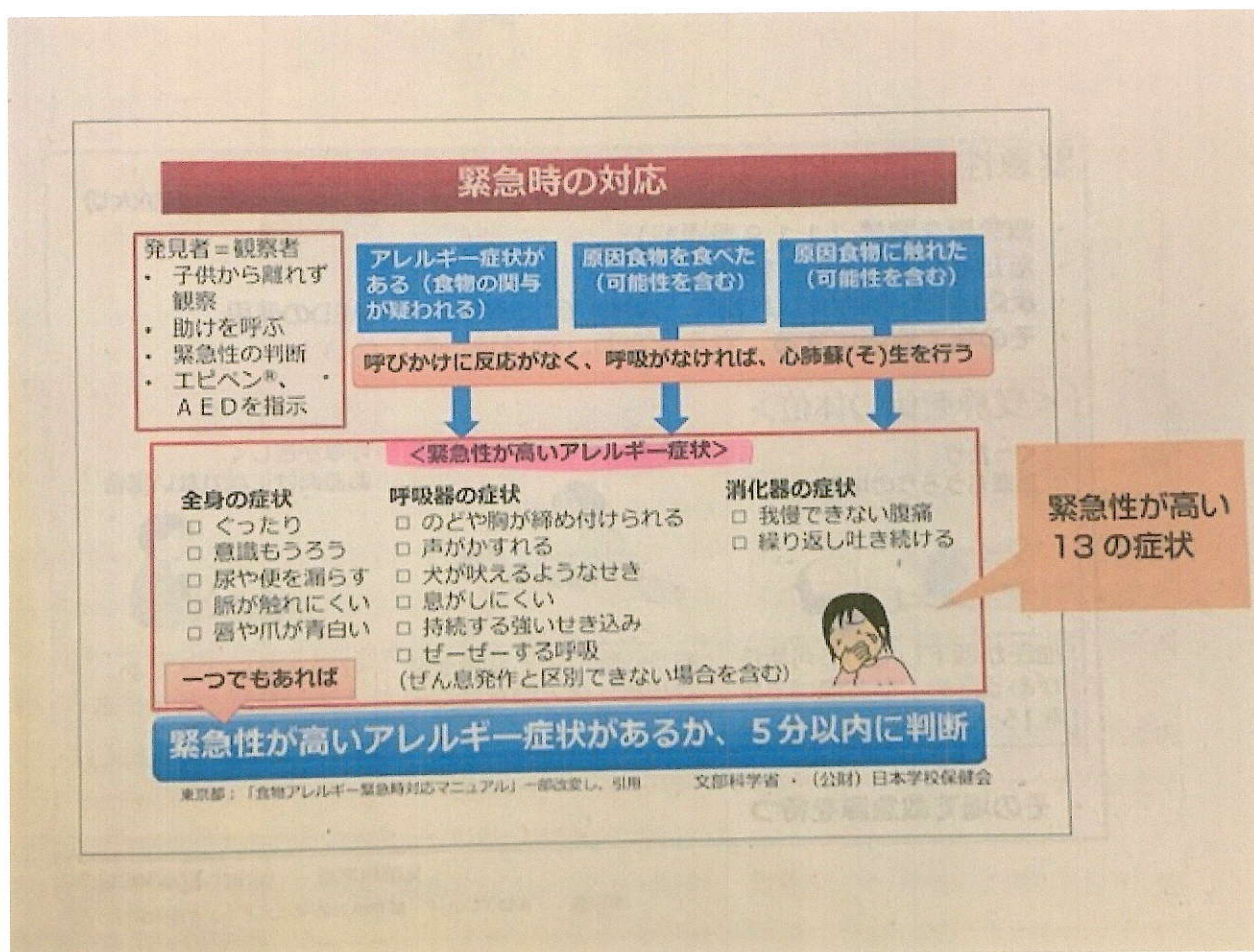
9 食物アレルギー、アナフィラキシーを予防するための措置

アレルギー疾患の児童に対する取組として、個々の児童等について症状等の特徴を正しく把握する。学校生活管理指導表(アレルギー疾患用)を用いて学校内で対応が必要な情報を把握する。児童のアレルギー疾患に関する情報を、主治医や学校医に記載してもらい、保護者を通じて学校に提出していただく。提出された学校生活管理指導表を、緊急時に教職員誰もが閲覧できる状態にするため、各教室の棚の横に管理する。必ず個人情報の取り扱いに留意する。

また、教職員のアレルギー対応研修会を設定し、校内研修の実施をする。その中でエピペンやAEDの適切に安全に対応できるように、一定の質を保つ。

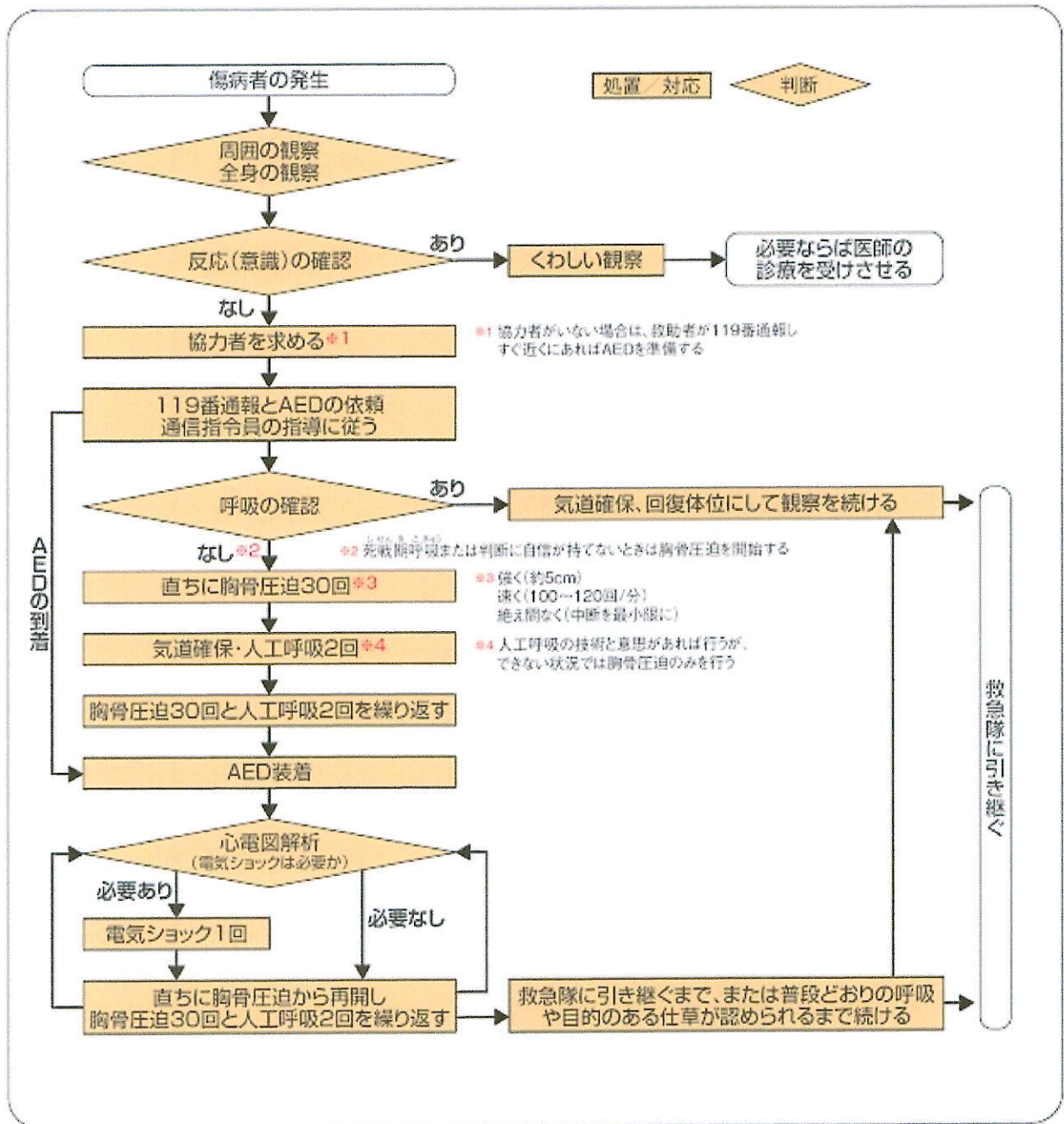
(1)緊急時対応の流れ

アレルギー症状を認めたり、原因食物を食べてしまったりした場合には、発見者は、児童から目を離さないで、助けを呼び、人を集める。集まった人にエピペンとAEDなどを持ってくるように指示する。緊急性の高いアレルギー症状があるかどうかの判断は5分以内に行い(下図)、いずれかのうち一つでも症状があれば、緊急性のアレルギー症状と判断し、直ちに救急車を要請する。



(2) 一次救命処置 (BLS)

手順



※日本赤十字の HP より

Ⅲ その他の危機管理

1 不審者対応について

(1) 不審者侵入時 緊急対策組織表

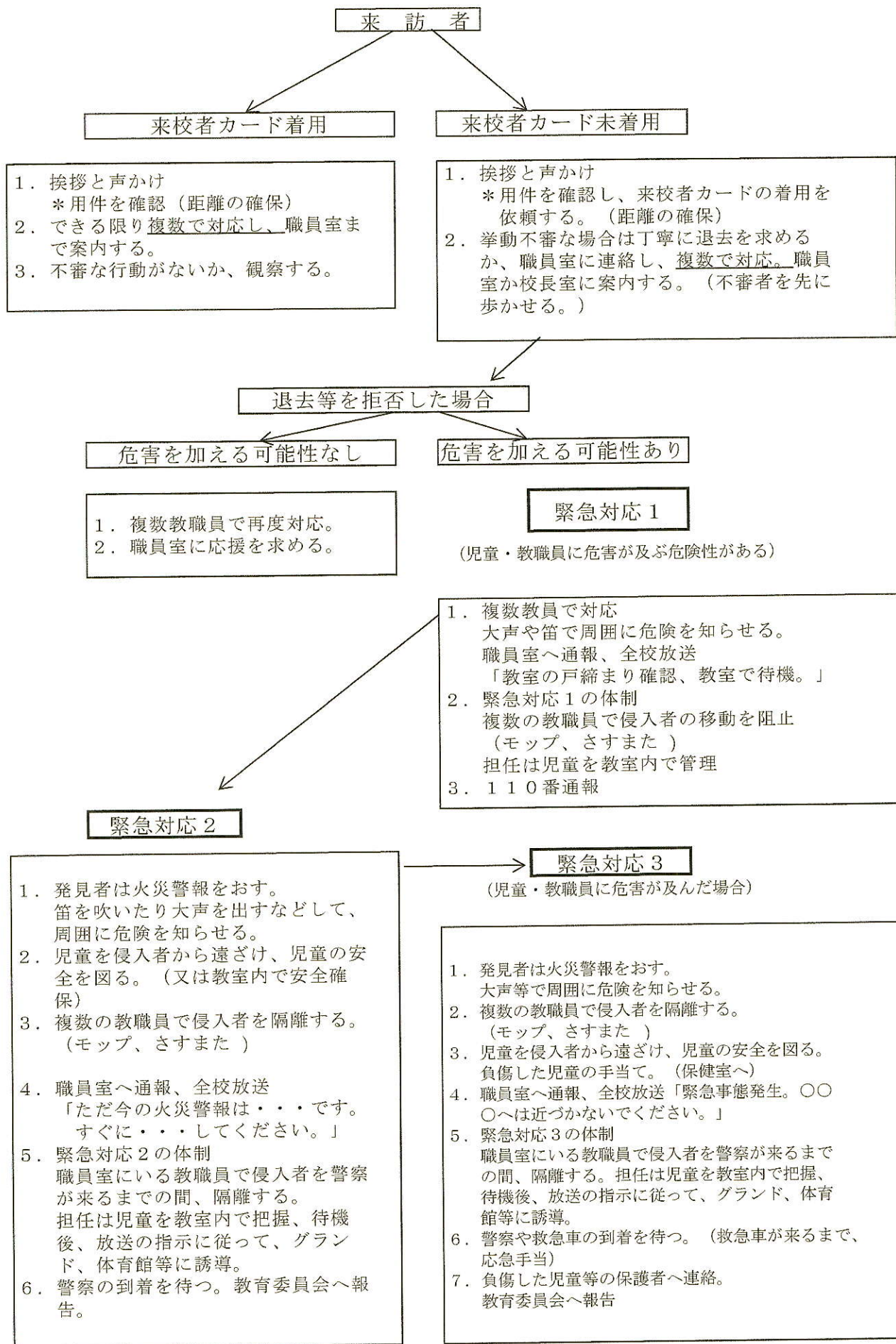
		不審者発見時の任務	避難後の任務
本部	本部長： 校長または教頭 副本部長： 教頭 または主席 教務主任	全体の総括・指揮 本部長の補佐・本部長不在時の任務 代行状況把握と指示 組織活動の推進（対応指示） 関係諸機関との対応（連絡・支援） 市教育委員会への報告 教頭の補佐	情報収集 指示徹底 点呼及び負傷児童確認結果の集約 授業継続か下校の判断 保護者対応説明 負傷児童搬送先への付添の指示 各機関対応
救護班	養護教諭	学校医・医療機関との連絡 応急処置及び記録	負傷者の処置 負傷者搬送等
避誘 導難 班	各担任	避難・誘導／収容	負傷者の実態把握・記録 児童管理及び2次避難
避確 認難 班	1号館 2号館 支援担 3号館	児童の避難確認	2次被害防止 施錠等
初対 応班	担任外教諭 非常勤嘱託員	不審者対応 不審者の隔離 校内巡回	不審者隔離 （警察到着まで） 警察到着後救護班へ 状況報告・記録 2次被害防止
報 知 班	副主事（事務）	状況把握と指示 各諸団体に連絡と支援を求める （PTA・各諸団体対応主担）	情報報告と記録

※ 緊急放送が入った場合、教室待機か避難かを確認すること。
担任は、避難場所・児童の人数を確認後速やかに行動する。
教室待機の場合・・・児童は教室内に置いて、後ろのドアのロックと担任は前のドアを施錠し、前ドアの所に防犯用道具を持って立つ。

※ 避難の場合は、原則的に先頭が担任で後方が担外等職員
複数の学級で避難する場合は、最初と最後に担任の配置。応援が出せる場合は、真ん中に担外等の職員が入ること。

◎ 隔離する場所は校長室・職員室とし、必ず複数で対応すること。

(2) 不審者侵入時のフローチャート



2 水泳指導時における施設管理及び安全指導について

(1) 施設管理について

①はじめに（プールは安全で衛生的であること。）

- (1) プール周辺や付属品をきれいにする。
- (2) 入水者をきれいにする。
- (3) プールの水をきれいにする。

浄化（換水と濾過）……浮遊物やにごり、容存有機物の除去。

消毒……病原菌、微生物（ウイルスや細菌）による汚染の消毒やアンモニアの除去。

②なぜプールの消毒をするのか

◇プールは、たまり水だから。

③なぜ塩素剤で消毒するのか

◇塩素は殺菌作用が強く、かつ微量で速やかな効果があり、人体には危険がない。また安価である。

◇文部科学省体育局長通知、厚生労働省環境衛生局長通知によりプール水の消毒は塩素、または塩素剤で消毒することが定められている。

◇飲料水も塩素消毒されている。

④どんな塩素剤が適当か

◇どんな塩素剤を使っても同じ残留塩素濃度ならば同じ効力である。

- ・次亜塩素酸ナトリウム液……無機塩素剤
- ・次亜塩素酸カルシウム……無機塩素剤
- ・塩素イソシアヌル酸……無機塩素剤

⑤塩素濃度の維持はどうすればよいか

◇塩素はアンモニアや有機物、紫外線、水泳者の汚れなどによって消毒されるが、強い直射日光の下では10分間に0.1ppmくらいの速さで分解消失が進む。

◇塩素消費量は、天候、入水人数、水の汚れ具合、循環濾過装置の運転状態、プールの使用時間、その他いろいろな要素が関連してくる。

- (1) 遊離残留酸素濃度を、常に0.4ppm～1.0ppmに保たれるよう、塩素消毒剤の量を調節する。
- (2) 1時間おきに測定し、塩素剤の補給をする。

⑥残留塩素とは

◇殺菌効力のある塩素が、殺菌作用や水中の汚れと反応したり、紫外線により分解した後に、なお余分に残留している分を残留塩素という。

◇塩素剤は、水に溶解すると次亜塩素酸（HClO）を生成し、この次亜塩素酸に殺菌作用がある。

◇プール水の遊離残留塩素は、常にどの部分でも0.4ppm以上に保つこと。

⑦塩素剤の貯蔵、及び取扱注意

◇強力な塩素剤であるので

- (1) 冷暗所に湿気を避けて貯蔵。
- (2) 火気や熱に直接さらさない。
- (3) 他の塩素消毒剤と混合使用したり、同じ場所での保管は絶対しない。
(化学反応で爆発を起こす場合がある。)

(2) 安全指導について

① プール使用規定

1. 本校職員、児童及び学校長が認めた指導者以外の使用は認めない。
2. 水温24.0c未満、気温26.0c未満の場合は、原則としてプールは使用しない。
3. 脱衣場を使用するときは、注意をよく守り、人に迷惑をかけない。
4. 準備運動、整理運動は十分に行う。
5. シャワーは入水前後必ず使用し、体をよく洗う。
6. プールサイドで騒いだり走り回ったりしない。
7. 水泳帽は必ず着用すること。また、浮き袋などは持ち込まない。
8. 2~3名を一組とし、入水終了後は必ず相手と組み確認する。
9. プール入水中、体の調子が悪くなった時はすぐ届ける。
10. 浄化装置のある機械室に出入りしない。

② プール入水の順序

- ① 健康調査→②バディシステム（点呼）→③準備運動→④シャワー →⑤入水→休息（繰り返し）
→⑥バディシステム（点呼）→⑦整理運動 →⑧シャワー →⑨更衣

③ プールの管理と薬品投入

- ・浄化装置機械の運転操作と次亜塩素酸ソーダの投入は各学年で順番に行う。
- ・残留塩素・PHの測定はその時間の指導者で行う。

④ プール指導 監視留意事項

<入水前> ●気温、水温は職員室前の黒板を見て確認する。

●残留塩素の測定→薬品投入、PH測定

●更衣室、シャワーの清掃・点検、水泳帽の点検

●集合前に更衣させる。

●点呼（バディシステム→準備運動→シャワー→入水）

●シャワーで十分に体を洗わせること。（特に足、腰）

<入水中> ●飛び込み禁止

●監視は、プールのコーナーに立つ。

●人数が多い場合は、泳ぐ方向を一定にする。

●事故発生の場合、全員プールよりあげ、校長に連絡し、他の一人は救急処置をする。

<入水後> ●人数点呼（バディシステム）

●整理運動

●洗顔 →シャワー

●更衣（体をよく拭いてから着替える。特に頭をよく拭かせる。）

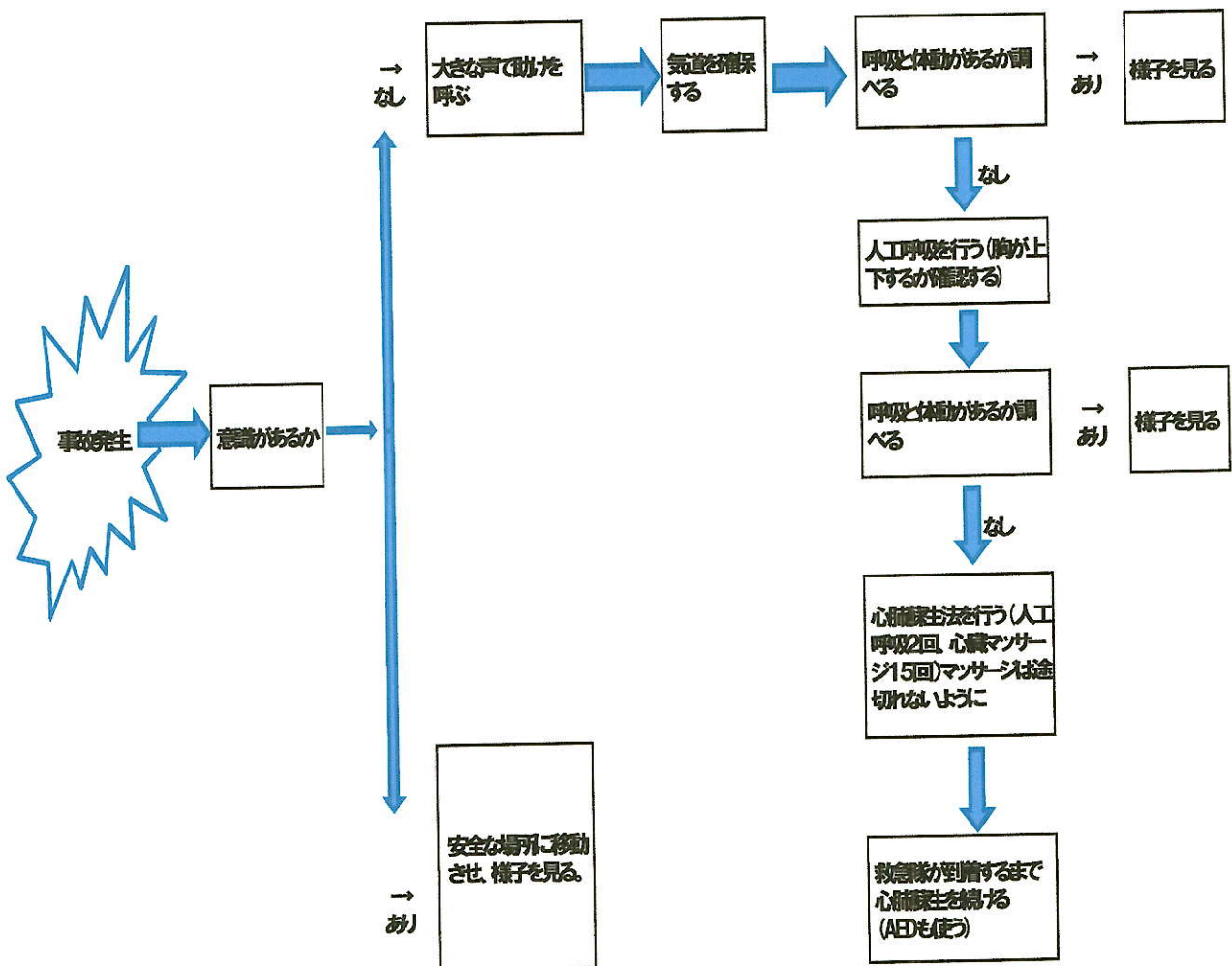
⑤プール緊急時の対応について

プール緊急時の対応について

津田小学校

1. 倒れている人（溺れている人）を発見する。
2. 意識を調べる。
 - ①呼びかける。
 - ②肩を軽くたたいてみる。
3. 大きな声で助けを呼ぶ。
4. 職員室に連絡し、救急隊に連絡を依頼する。AEDを持ってきてもらう。（職員室前にある。）
5. 気道を確保する。
6. 呼吸と体動があるかを調べる。
7. 人工呼吸を行う。（胸が上下するかを確認する。）
8. 呼吸、体動があるかを確認する。
9. 心肺蘇生法を行う（人工呼吸2回、心臓マッサージ15回）心臓マッサージは途切れないように。
10. 救急隊が到着するまで、心肺蘇生を続ける。

*焦らず、冷静かつ迅速に救助にあたる。



3 熱中症

体育、スポーツ活動における熱中症を予防する。

【熱中症予防の原則】

1. 環境条件を把握し、それに応じた運動、水分補給を行うこと
2. 暑さに徐々に慣らしていくこと
3. 個人の条件を考慮すること
4. 服装に気をつけること
5. 具合が悪くなった場合には早めに運動を中止し、必要な処置をすること

(1) 事前の対応

熱中症を予防するためには気温や湿度などの環境条件に配慮した活動が必要。活動現場の環境条件を把握する指標として、暑さ指数(WBGT)を用いて判断する。暑さ指数の基準とする運動や各種行事の指針を中心とした熱中症予防の体制整備を予めすること。

- ① 教職員への啓発
- ② 児童生徒への指導
- ③ 体調不良を受け入れる文化の醸成
- ④ 情報収集の手段(テレビ、インターネット等)及び教職員への伝達方法の整
- ⑤ 暑さ指数(WBGT)の把握と共有
- ⑥ 保護者等への情報提供

(2) 熱中症発生時の対応

熱中症が疑われる時には、放置すれば死に至る緊急事態であることを認識する。まだ症状において応急処置あるいは医療機関へ搬送する措置を行う。

●軽症(応急処置と見守り)

〈症状〉

めまい、立ちくらみ、生あくび、大量の発汗、筋肉痛、筋肉の硬直(腓返り)

〈治療〉

冷所での安静、体表冷却、経口的に水分とNaの補給

●中等症(医療機関へ)

〈症状〉

頭痛、嘔吐、倦怠感、虚脱感、集中力や判断力の低下

〈治療〉

医療機関への診察、体温管理、安静、十分な水分とNaの補給

●留意点

重症度(救急搬送の必要性)を判断するポイントとして、三つを確認する。

- ①意識がしっかりしているか。
- ②水を自分で飲めるか。
- ③症状が改善したか。

搬送時、応急処置の際は、必ず誰かが付き添いを行う。

非常放送のしかた (3) 非常電話・発信機起動

■非常電話・発信機起動の場合

非常電話または非常電話機の起動
(異常放送は不要)

- ・非常電話機の起動
- ・非常電話機の起動
- ・非常電話機の起動

緊急放送終了

【非常電話機】が放送されます
ピンポン・ピンポン・ピンポン (緊急アラート音)
次に「火災」の音の連続放送が開始されます。放送が終了してからの音は、放送機が自動的に放送を停止してからの音です。放送機が自動的に放送を停止してからの音は、放送機が自動的に放送を停止してからの音です。

緊急放送終了

緊急放送終了

【火災放送】が放送されます
ピンポン・ピンポン・ピンポン (緊急アラート音) 火災です (火警です)
火災です (火警です)。放送機が自動的に放送を停止してからの音は、放送機が自動的に放送を停止してからの音です。

緊急放送終了

緊急放送終了

緊急放送終了

緊急放送終了

緊急放送終了

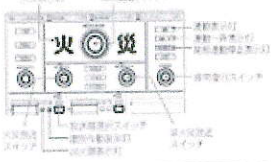
緊急放送終了

緊急放送終了

●タイマー設定

1. 非常電話機タイマー (緊急アラート音)	...
2. 非常電話機タイマー (緊急アラート音)	...

●操作パネル



●マイク放送のしかた

- ・マイク放送のしかた (緊急アラート音)
- ・マイク放送のしかた (緊急アラート音)
- ・マイク放送のしかた (緊急アラート音)

2

■火災でなかった場合

緊急放送終了

【非常電話機】が放送されます
ピンポン・ピンポン・ピンポン (緊急アラート音)
次に「火災」の音の連続放送が開始されます。放送が終了してからの音は、放送機が自動的に放送を停止してからの音です。放送機が自動的に放送を停止してからの音は、放送機が自動的に放送を停止してからの音です。

- ・マイク放送のしかた (緊急アラート音)
- ・マイク放送のしかた (緊急アラート音)
- ・マイク放送のしかた (緊急アラート音)

非常放送のしかた (5) 手動起動 (火災)

■ 手動起動の場合

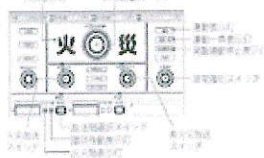
※ 非常放送の音

・ 手動起動ボタン
 ・ 非常放送スイッチを押す (非常放送スイッチを押すと非常放送が開始)
 ・ 非常放送が開始されると非常放送の音、また非常放送の放送する内容が非常放送の音で表示されます

● タイマー設定値

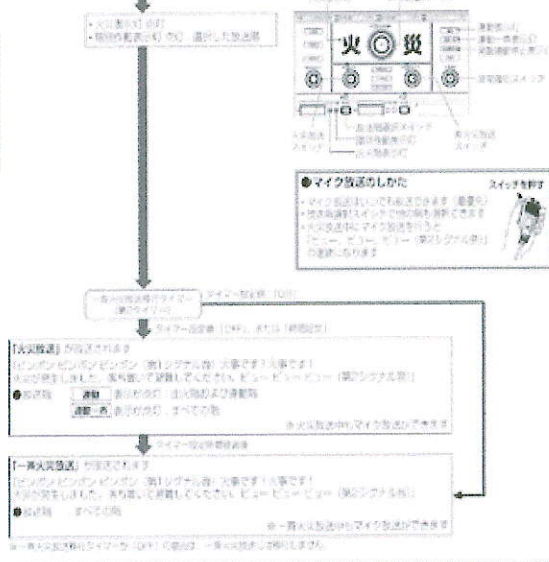
火災放送時のタイマー (緊急スイッチ)	0分	10分	30分
一般火災放送時のタイマー (緊急スイッチ)	0分	10分	30分
一般火災放送時のタイマー (緊急スイッチ)	0分	10分	30分

● 操作パネル



● マイク放送のしかた

・ マイク放送はいつでも放送できます (通常時)
 ・ 非常放送スイッチで他の放送を強制できます
 ・ マイク放送時にマイク放送を行うと「ブザー」・「ブザー」・「ブザー」(緊急放送)の音が鳴ります



■ 火災でなかった場合



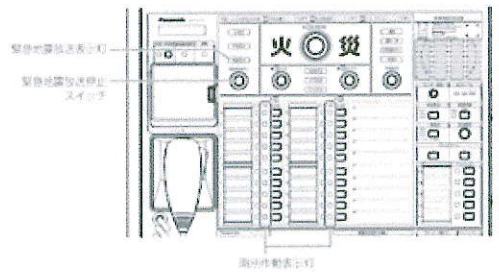
4

緊急地震放送について

緊急地震放送とは

緊急地震速報受信端末からの地震信号により、自動で地震放送ができます。
緊急地震放送は、放送の優先順位が最上位で、この放送を行っている間は、通常放送、緊急放送、警報放送、おまひマイク放送は行えません。また、停電時も非常放送用の非常電源により放送が可能です。

緊急地震放送の動作



緊急地震速報受信端末より緊急地震速報を受信

↓

緊急地震放送表示灯が点滅し、緊急地震放送が放送される
サイン音2回、「地震です。落ち着いて身を守ってください」

- あらかじめ設定した高さまでに放送されます。
(手動操作により、放送開始直前、放送を行うことはできません)
- マイク放送はできません。

音源選択

① オン オフ/リセット
② オン オフ/リセット
③ オン オフ/リセット

交互に表示

① オン オフ/リセット
② オン オフ/リセット

※緊急地震放送前に放送を行っていた場合は、緊急地震放送終了後、元の放送を再開します。
サイン音は1回に、10秒から選択できます。設定は本体の裏書きのみで行えます。

緊急地震放送を停止させたいときは

緊急地震放送停止スイッチを押す
緊急地震放送が停止します。

※緊急地震放送前に放送を行っていた場合は、緊急地震放送終了後、元の放送を再開します。